

だるま



学年通信『だるま』に決定！

学級目標（学年通信のタイトルも兼ねる）として、1年A組では全員から意見を集め、クラス会議を経て『だるま』に決定しました。選定理由としては、「インパクトがあり縁起がよい」や「転んでも立ち上がる」といった内容で、これからの中学校生活・高校生活においてすべてが順風満帆に進むことが理想ですが、もし困難な状況になったとしても起き上がり、立ち上がることができる皆さんであってほしいと願います。また、誰かが困難に陥ったときにはみんなで協力して問題を解決していける集団に成長していってほしいです。『七転び八起き』という言葉には何度失敗しても、その度に立ち上がり、やりぬくこととあります。だるまのように、倒れてもくじけずにしっかりと立ち上がることができるよう、みんなで成長していきましょう。

校外研修について

6月3日金曜日に校外研修を行いました。天気にも恵まれ、予定通りシーカヤック体験も行うことができました。生徒たちもこの研修を大変楽しみにしており、当日もいつも以上に元気な姿で活動に取り組んでいました。午前中は、「真珠講座」と「ブレスレット作り」を行いました。真珠講座では、英虞湾から真珠養殖が始まったことや、近年特に真珠の生産量が減少していること、SDGsに即してわたしたちがすべきこと等を教えていただきました。「ブレスレット作り」では、真珠を中心として色とりどりの作品が出来上がりました。昼食をはさんで、午後からは「シーカヤック体験」を行いました。インストラクターの先生方のご指導の下、最初はぎこちない様子でしたが、徐々に声を出し、協力して、船を進めることができました。無人島にも上陸し、自然と触れ合いました。気温の高い1日でしたが、大きな怪我や事故なく過ごすことができました。準備物など、保護者の方にも多くのご協力をいただき、ありがとうございました。



「校外研修のしおり」より 生徒たちの感想（一部）

- ・真珠の深刻な問題について話していただき、「三重県の大切なものだから、これからも守っていかなくてはならない」という気持ちが芽生えました。
- ・シーカヤックでは、漕ぐのに必死だったけど、慣れてくると周りの景色がきれいだったので、その景色に魅了されました。自分たちはこの海を残していくために、どのような対策を取る必要があるのかよく考え、自分で実行することが必要だと思いました。これからはもっと自然に興味を持ちたいと思います。
- ・たくさんの海の恵みに触れることができました。真珠は海環境を守れば、ずっと作り続けることができること、そのことにつながるSDGsの目標などやらなければならないことに関係していることを学びました。
- ・私はこのような体験が、次の世代にもできるようにしたほうがいいと思います。これからは海環境を守る活動をもっと積極的にしていきたいです。
- ・みんなと協力していろんなことをすると、きずなが深まることがわかりました。
- ・私はこの研修で、みんなとさらに仲良くなれた気がします。今日は、たくさんのことが学ぶことができました。しかも、一生の思い出になったと思います。

調理実習について

生徒たちからの声や感想の中には、「みんなと泊まりたかった」というものもありました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、宿泊研修は校外研修という形になりましたが、6月4日土曜日には宿泊研修で行う予定であった「調理実習」を行いました。家庭科・谷水先生のご指導のもと、校外研修用に分かれた4人から5人の班のメンバーで「カレーライス」を作りました。

はじめに谷水先生からカレー作りの流れや野菜・肉の切り方などを教わり、各班に分かれて調理開始です。「この切り方ではまだ大きすぎるかな?」「もう少し火を強くしてみようか?」など試行錯誤しながら一つ一つの関門をクリアしてすべての班が完成にたどり着きました。調理を進めていく中でも19人それぞれの個性が見えました。中心になって指示を出して班を引っ張っている生徒や、みんなが煮込んでいる鍋の様子に集中しているときでもささっと流し台の片付けができる生徒もいました。校外研修の流れで実施した調理実習においても、生徒同士の理解を深め、協力することで、成功体験を得ることができました。出来上がったカレーはどの班も美味しく、充実した研修となりました。

